



各 位

平成27年6月26日

会社名  日本タンゲステン株式会社
 代表者名 取締役社長 馬場 信哉
 (コード番号 6998 東証2部、福証)
 問合せ先 取締役経営管理担当 大島 正信
 (TEL 092-415-5500)

(訂正・数値データ訂正)

「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成27年5月14日に発表いたしました「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

【訂正箇所1】サマリー情報1ページ

1. 平成27年3月期の連結業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
27年3月期	百万円 <u>1,029</u>	百万円 <u>△860</u>	百万円 △634	百万円 2,955
26年3月期	778	△405	185	3,395

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
27年3月期	百万円 <u>970</u>	百万円 <u>△802</u>	百万円 △634	百万円 2,955
26年3月期	778	△405	185	3,395

【訂正箇所2】添付資料3ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

(省略)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、営業活動により10億2千9百万円の資金を獲得し、投資活動により8億6千万円の資金を支出し、財務活動により6億3千4百万円の資金を支出した結果、前連結会計年度末と比較して、4億4千万円減少し、29億5千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は10億2千9百万円となり、前年同期と比べ2億5千万円の収入増となりました。これは、主にたな卸資産が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は8億6千万円となり、前年同期と比べ4億5千5百万円の支出増となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は6億3千4百万円となり、前年同期と比べ8億2千万円の支出増となりました。これは、主に借入れの返済が増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
自己資本比率	47.4	47.8	43.6	48.8	52.7
時価ベースの自己資本比率	39.7	27.1	24.3	26.4	28.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.0	6.2	53.7	6.0	<u>4.0</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	11.4	9.4	1.2	12.0	<u>16.1</u>

(省略)

(訂正後)

(省略)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、営業活動により9億7千万円の資金を獲得し、投資活動により8億2百万円の資金を支出し、財務活動により6億3千4百万円の資金を支出した結果、前連結会計年度末と比較して、4億4千万円減少し、29億5千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は9億7千万円となり、前年同期と比べ1億9千2百万円の収入増となりました。これは、主にたな卸資産が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は8億2百万円となり、前年同期と比べ3億9千6百万円の支出増となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は6億3千4百万円となり、前年同期と比べ8億2千万円の支出増となりました。これは、主に借入れの返済が増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
自己資本比率	47.4	47.8	43.6	48.8	52.7
時価ベースの自己資本比率	39.7	27.1	24.3	26.4	28.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.0	6.2	53.7	6.0	<u>4.3</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ	11.4	9.4	1.2	12.0	<u>15.2</u>

(省略)

【訂正箇所3】添付資料13ページ

5. 連結財務諸表

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	320	115
減価償却費	512	525
減損損失	-	461
海外事業関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△16	△272
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41	58
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	△8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△408	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	△21
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△215
受取利息及び受取配当金	△18	△21
支払利息	56	59
持分法による投資損益 (△は益)	△46	△38
売上債権の増減額 (△は増加)	375	△211
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37	415
仕入債務の増減額 (△は減少)	71	48
その他	45	191
小計	943	1,086
利息及び配当金の受取額	61	65
利息の支払額	△65	△63
法人税等の支払額	△162	△71
法人税等の還付額	1	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	778	1,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△394	△622
有形固定資産の売却による収入	1	27
賃貸不動産の取得による支出	-	△282
貸付けによる支出	△10	△6
その他	△2	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△860

(省略)

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	320	115
減価償却費	512	525
減損損失	-	461
海外事業関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△16	△272
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41	58
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	△8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△408	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	△21
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△215
受取利息及び受取配当金	△18	△21
支払利息	56	59
持分法による投資損益 (△は益)	△46	△38
売上債権の増減額 (△は増加)	375	△211
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37	415
仕入債務の増減額 (△は減少)	71	48
その他	45	133
小計	943	1,027
利息及び配当金の受取額	61	65
利息の支払額	△65	△63
法人税等の支払額	△162	△71
法人税等の還付額	1	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	778	970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△394	△564
有形固定資産の売却による収入	1	27
賃貸不動産の取得による支出	-	△282
貸付けによる支出	△10	△6
その他	△2	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△802

(省略)